修正前

**第１編　長期ビジョン**

**１　はじめに**

**２　福知山市市民憲章**

**３　ビジョン**

**４　まちづくりの目標**

修正後

**第１編　長期ビジョン**

**１　はじめに**

**２　ビジョン**

**３　まちづくりの目標**

**１　はじめに**

修正前

福知山 未来創造プランは、福知山市の将来あるべき望ましい姿を設定し、その実現に向けて市民の総力を結集するとともに、これからの住民福祉向上のために必要な施策を体系化し、総合的・計画的なまちづくりの指針を定めるものです。

これまで、福知山市ではおおむね１０年を計画期間とする「総合計画」を市政運営の基本としていましたが、今後はより長期的な展望を踏まえた指針とする「長期ビジョン」により、まちづくりにおける基本理念およびめざすべき将来都市像を掲げるとともに、近年急激に変化を続ける社会情勢に対し的確に対応し、柔軟で機動的な市政運営を図るため、分野別に体系化した５年間の戦略を示す「基本計画」とで構成することとします。

ここにお示しする「ビジョン」は未来の福知山市を展望しています。ビジョンとは、将来の構想を表すもので、福知山市や福知山市民が大切にしたいことや普遍的な価値観を意識しながら、将来こうありたいという社会の姿を描いています。

**２　福知山市市民憲章**

**幸せを生きる**

わたしたちは、ふるさと福知山を“幸せの舞台”にします。

水清い由良川、緑濃い山々、行き交う人々。

生き生きとして、伸び伸びとしたふるさとをつくります。

わたしたちは、ひとりひとりの中に

人生を自由で美しいものにする力を持っています。

そのわき出る力を集め、四季を愛し、命を尊び

共に幸せを生きます。

平成3年4月1日制定

市民憲章は、市民が主役のまちづくりを促進する「福知山市ふるさと創生計画」に基づき制定された、市民の「心のよりどころ」「行動指針」「生活規範」を明文化して、住んでみたい、住んで良かったといえる、すてきな福知山をみんなでつくりあげようという基本的な理念を表した「福知山市民の恒久の願い」です。

わたしたちの住む「福知山市」は美しい自然を有しています。その貴重な財産を市民の強い意思と行動で未来へつなぐ努力しなければなりません。また、一人ひとりが持つ無限の可能性を信じ、みんなが幸せを感じる魅力的なまちづくりにみんなで関わっていきたい。

時代が変われども決して揺らぐことのないこの普遍的な価値観を、福知山市のまちづくりにおける最も基本的な考え方として掲げます。

**１　はじめに**

修正後

これまで福知山市では、おおむね１０年を計画期間とする「総合計画」を策定し、それを市政運営の基本として、現在の福知山市の基盤をつくり、諸施策を実施し、発展してきました。

しかし、日本社会や福知山市を取り巻く自然・社会環境はかつてない大きな変化と複雑さを見せています。

地球規模での温暖化による気候変動とその影響とも考えられる大規模災害の頻発、全国的な人口の減少とそれに伴う急激な少子高齢化や過疎化、ＩＣＴ技術・産業の飛躍的な発展を基礎にもたらされる国際化・情報化の進展など、自然・社会環境の大きな変動は、今後の日本と地域社会のあり方を長期にわたって根底的に規定していくものと思われます。

今後は、この大きな変化の方向を見定めながら的確に対応した市政運営を行っていくことが必要となっています。

このため、地域社会の将来をこれまでの延長線上に構想して１０年先をめざしたまちづくりを考える発想を転換することとしました。

具体的には、地域社会の大きな変化の方向を見定めたうえで、めざす福知山市の未来の姿を描く「長期ビジョン」と、その「長期ビジョン」に掲げる都市像を実現するための５年間の基本戦略を体系化した「基本計画」とで構成する「未来創造 福知山」として新しい福知山市の指針とします。

「長期ビジョン」は、めざすべき未来の福知山市の姿です。ここでは、過去の傾向等から計量的に将来予測するのではなく、「市民憲章」※が掲げる美しい自然などの地域資源を未来につなぐとともに、市民自らがみんなで幸せを感じるまちづくりに関わろうという普遍的な価値観を意識しながら、こうありたいと願う福知山市の姿を描いています。

そして、今後、刻々と変化する福知山市を取り巻く社会情勢を見定めて常に点検を行うことにより、市民の皆様とともに「幸せを生きる」まちづくりに取り組んでいきます。

※「市民憲章」について

市民憲章は、市民が主役のまちづくりを促進する「福知山市ふるさと創生計画」に基づき制定された、市民の「心のよりどころ」「行動指針」「生活規範」を明文化して、住んでみたい、住んで良かったといえる、すてきな福知山をみんなでつくりあげようという基本的な理念を表した「福知山市民の恒久の願い」として平成３年４月１日に制定されました。

**３　ビジョン**

修正前

本市を取り巻く情勢は、全国的な傾向と同様に急激な少子高齢化や過疎化、地球規模での環境問題に伴う気候変動、その影響も一因と考えられる甚大な被害をもたらす水害の頻発、国際化・情報化の進展、厳しい財政運営など刻々と変化、複雑化しています。

さらに、成熟時代を迎え、市民ニーズの多様化・高度化が進み、今まで以上に安全性や快適性など、生活環境の質的向上や、新たな価値の創造が求められ、まちづくりの大きな転換期を迎えています。

そのような状況の中、福知山を誇りに思い「幸せを生きる」ために、行政はもとより、市民・地域団体・ＮＰＯ・企業などが自ら考え行動し、参画することで地域のコミュニティを確立し、新たな福知山を築いていく取り組みが一層強く求められています。

子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重しながら能力や個性を最大限発揮するとともに、対話や交流によってつながり、互いに協力し高め合うことで大きく広がった“わ”こそが、このまちを動かす原動力となります。この原動力を基にして、住民自らが考え、行動することにより、社会構造が急速に変化する中でも温かみや幸せを感じられる、強くしなやかなまちを持続し、発展させていくことができます。

**“わ”とは、**

**「輪」＝人のつながり・絆　　　「話」＝話し合い・コミュニケーション**

**「我」＝個々の取り組み・自助　「和」＝協力し合う関係・平和・共助**

**「環」＝巡り巡りつながり**

**合う・循環**

　　　　　　　　　　　人がつながり“わ”を広げる

**２　ビジョン**

修正後

わが国全体が、成長時代を経て成熟時代を迎える中、福知山市においても人口減少が進行し、市民ニーズの多様化・高度化が進み、今まで以上に安全性や快適性など、生活環境の質的向上や、新たな価値の創造が求められるなど、まちづくりの大きな転換期を迎えています。

このような中、私たちが福知山を誇りに思い、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重しながら対話や交流を深めることで、絆や支え合う心を育み、さらに広げていくことが期待されています。

私たちは、互いに協力し高め合うことで能力や個性を最大限発揮するとともに、市民自らが考え行動することで、社会情勢が急速に変化する中でも温かみや幸せを感じられ、生きがいを実感できる強くしなやかなまちを持続し、発展させていくことができます。

福知山市は、北近畿地方（京都府北部、兵庫県北部）の中央に位置し、交通の要衝として恵まれた立地条件を活かし、この地域における運輸通信・産業経済の交流拠点として、また、周辺地域から多くの人々が集う日常生活圏の中心として一定の都市機能を集積し発展しています。

加えて豊かな自然、歴史・文化、充実した教育・医療機関など誇るべき豊富な資源を持っています。

今後も福知山市の強みと役割を十分に発揮することで、人と人、人とまち、そしてまちとまちとをつなぎ合わせ、ここに暮らす人々がそれぞれの想いや願いを自ら実現できる、**多様性あふれる高次機能都市**を目指します。

修正前

また、本市は、北近畿地方（京都府北部、兵庫県北部）の中央に位置し、交通の要衝として恵まれた立地条件を活かし、この地域における運輸通信・産業経済の交流拠点として、一定の都市機能を集積し発展しています。

今後も本市の強みと役割を十分に発揮し、“わ”によって人と人、人とまち、そしてまちとまちとをつなぎ合わせ、福知山市はもとより近隣市町が持つ資源と特色を最大限に引き出し活かし合う新たなネットワークの創造により、付加価値を高め、広域的な連携により地域全体の機能維持と質の向上を図ります。

福知山市は、豊かな自然、歴史・文化、充実した教育・医療機関、長年の取り組みにより整備された都市基盤などの誇るべき資源を持つとともに、日常生活圏域として周辺地域から多くの人々が集うことにより、人とまちとの様々な交流を創り出す活力を持っています。“わ”を原動力とした交流により住民自らの中からわき出る力を集めることで、ここで暮らす様々な人々がそれぞれの思いや願いを自ら実現することのできる、**多様性あふれる高次機能都市**をめざします。

本市は、これまで医・職・住・遊・学といった都市基盤の整備に取組んできており、とりわけ京都府北部唯一の地域救命救急センターである福知山市民病院、府北部最大の規模を誇る長田野工業団地、府北部唯一の4年制大学や多数の高等学校などの集積、さらには大都市圏や日本海側を結ぶＪＲ山陰本線・福知山線や京都丹後鉄道宮福線、高速道路などの交通結節点といった多様で高度な機能が集積しています。本市は、こうした都市的エリアと豊かな自然に囲まれた農山村エリアを併せもつ、多様な地域で構成されています。

都市的エリアでは、これらの都市機能の集積により、利便性の高いアクティブな都市的生活を送ることができます。

農山村エリアでは、豊かな自然環境の中で、大江山などの観光資源、長田野工業団地アネックス京都三和などの製造業の拠点、和紙や漆などの伝統工芸産業、農業など多様な資源や産業機能も備え、自然豊かな生活を送ることができます。

また、福知山市域内の両エリアが鉄道や幹線道路でしっかり結びついており、それぞれのエリアの良さをお互いに享受できる多様性を持っています。

さらには、京阪神地域や日本海と近接した立地条件のもと、鉄道や高速道路が整備されたことにより、1時間程度で大都市のサービスや、海の恵みなども身近に選択できる地域であり、市内外を問わず多様な生活を享受できる高度な機能が集積した都市であります。

都市と農山村の両方の基盤を活かした人口の定着と流入が図られるよう、一層、機能の充実・整備を図ることとします。

修正後

私たちがめざそうとする福知山市の未来の姿は以下のようなものです。

修正前

**誰もが生きがいを感じるまち**

個人の生命と人権、多様な価値観や生活スタイルが尊重され、家庭や地域での豊かな人間関係を基本とした活発な連携・協働による多彩なコミュニティ活動にあふれたまちづくりを実現します。また、個性が尊重され、能力を発揮することができる環境が構築され、相互に支え合い、助け合うことで「生きがい」を実感できるまちを実現します。

**多様な活動があふれるまち**

さまざまな地域の課題を解決するために、住民・地域・事業者・ボランティア・ＮＰＯ・大学・行政など多様な主体が対等な立場でそれぞれの特性を活かし合うとともに役割と責任を分かち合い、連携・協力しています。それらをより一層進めるために、自ら考え、自ら解決するために地域の力を結集できるコミュニティが構築され、地域の実情に応じたコミュニティ活動が大きく展開できる環境を実現します。

**多様性にあふれ新たな価値を創造するまち**

本市には、豊かな自然、医療、福祉、学びなど幅広い基盤が充実しており、多様な生活スタイルの選択が可能な環境を持っています。北近畿の交流拠点である本市では、広域的な人や物の交流がさらに深まり、多様な新たな価値を創造するまちづくりを実現します。そして、北近畿地域はもとより、全国さらには世界に向けてその情報を発信します。

**豊かな環境や文化を活かしすべての地域が輝くまち**

それぞれの地域では、人々が郷土への愛着と誇りのもとに地域の暮らしを支えています。愛着と誇りは、歴史や文化に培われた地域資源、豊かな自然、環境から生まれるものであり、将来にわたってしっかりと守り育てることが重要です。その中で地域の中で自信を持って誇れる環境を市民と共に創り、すべての地域が輝くまちを実現します。

**安心・安全に暮らせるまち**

地球規模で風水害や地震といった災害などのリスクが高まっています。これらに対して市民の生命財産を守る安心・安全なまちを自助・共助を活かして市民とともに実現します。

また、すべての人がそれぞれの地域で安心して暮らせるように健康・医療・福祉の充実とともに、若い世代の働く環境の確保、結婚・子育ての希望がかなう社会を実現します。

私たちがめざす未来の福知山市の姿を、以下に示します。

修正後

**人間性が豊かで誰もが生きがいを感じるまち**

個人の生命と人権、多様な価値観や生活スタイルが尊重され、家庭や地域での豊かな人間関係を基本とした活発な連携・協働による多彩なコミュニティ活動にあふれたまちづくりを実現するとともに、個性が尊重され、能力を発揮することができる環境が構築され、相互に支え合い、助け合うことで「生きがい」を実感できるまちを実現します。

**豊かな環境や文化を活かしすべての地域が輝くまち**

それぞれの地域では、人々が郷土への愛着と誇りのもとに地域の暮らしを支えています。愛着と誇りは、歴史や文化に培われた地域資源、豊かな自然、環境から生まれるものであり、将来にわたってしっかりと守り育てることが重要です。誇りを持ってふるさとを語ることができる環境を創り、すべての地域が輝くまちを実現します。

**多様性にあふれ新たな活力が生まれるまち**

豊かな自然、医療、福祉、学びなど幅広い基盤が充実した福知山市では、多様な生活スタイルの選択が可能です。北近畿の交流拠点である福知山市では、市内はもとより広域的な人や物の交流をさらに深めることで、新たな活力が生まれるまちを実現します。そして、全国さらには世界に向けてその情報を発信します。

**安心・安全に暮らせるまち**

地球規模で風水害や地震といった災害などのリスクが高まっています。これらに対して市民の生命財産を守る安心・安全なまちを自助・共助を活かして市民とともに実現します。

また、すべての人がそれぞれの地域で安心して暮らせるように健康・医療・福祉の充実とともに、若い世代の働く環境の確保、結婚・子育ての希望がかなう社会を実現します。

**４　まちづくりの目標**

修正前

**（１）人口の目標**

近年、我が国の人口減少は、「若年人口の減少」と「高齢人口の増加」を伴いながら今まで以上に進行し、平成50年ごろには毎年100万人程度の減少スピードになるといわれています。こうした中、政府は平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行するとともに、国と地方が総力を挙げて「地方創生」と「人口減少の克服」に取り組む上での指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および、地方の創生に向けた取り組みの基本的な方向や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

本市の人口は、平成に入ってから約82,000人を前後に横ばい状況を続けていましたが、平成17年と平成22年の国勢調査の結果によると、5年間で2,325人(2.8%)減と人口減少が加速しており、総合戦略の目標年次である平成52年には、約60,400人にまで減少することが想定されます。

こうした中、本市においても、地方創生や人口減少の克服に向けた指針となる「福知山市人口ビジョン」と「福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」を平成27年○月に策定しました。

本「長期ビジョン」の取り組みを総括的に評価する基本指標として、「福知山市人口ビジョン」の目標人口を掲げ、平成52年度の人口約○人をめざします。

**人口推計（総人口）**

出典：国勢調査（平成7年～平成22年）

　　　　国立社会保障・人口問題研究所（平成27年～平成52年）

**３　まちづくりの目標**

修正後

**（１）人口の目標**

福知山市の人口は、平成に入ってから約82,000人を前後に横ばい状況を続けていましたが、平成17年と平成22年の国勢調査の結果によると、5年間で2,325人(2.8%)減と人口減少が加速しており、平成52年には、60,414人にまで減少することが想定されます。

こうした中、福知山市においても、地方創生や人口減少の克服に向けた指針となる「福知山市人口ビジョン」と「福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」を平成27年○月に策定しました。

「長期ビジョン」の取り組みを総括的に評価する基本指標として、各種施策を展開することを前提にした目標人口を掲げ、平成52年度の人口約○○人をめざします。

**人口推計（総人口）**



出典：国勢調査（平成7年～平成22年）

　　　　国立社会保障・人口問題研究所（平成27年～平成52年）

修正前

**（２）都市づくりの目標**

本市は、各地域の特性を活かし、市域全体における一体的・計画的なまちづくりを進めていくため、本市の「目標とする都市構造」をエリア区分と拠点地区設定の視点から明確化を図り、各エリア・拠点地区の役割を踏まえた“福知山らしいコンパクトな都市”づくりを推進します。

“福知山らしいコンパクトな都市”とは、高次の都市機能が集積する中心市街地の再生・強化とあわせて、三和地域、夜久野地域、大江地域や市街化調整区域を含めた農山村地域においては、中核となる集落を「小さな拠点」と位置付け、これらの核を中心として日常的な生活利便性を確保するものです。

■目標とする都市構造図（多様性あふれる高次機能都市）





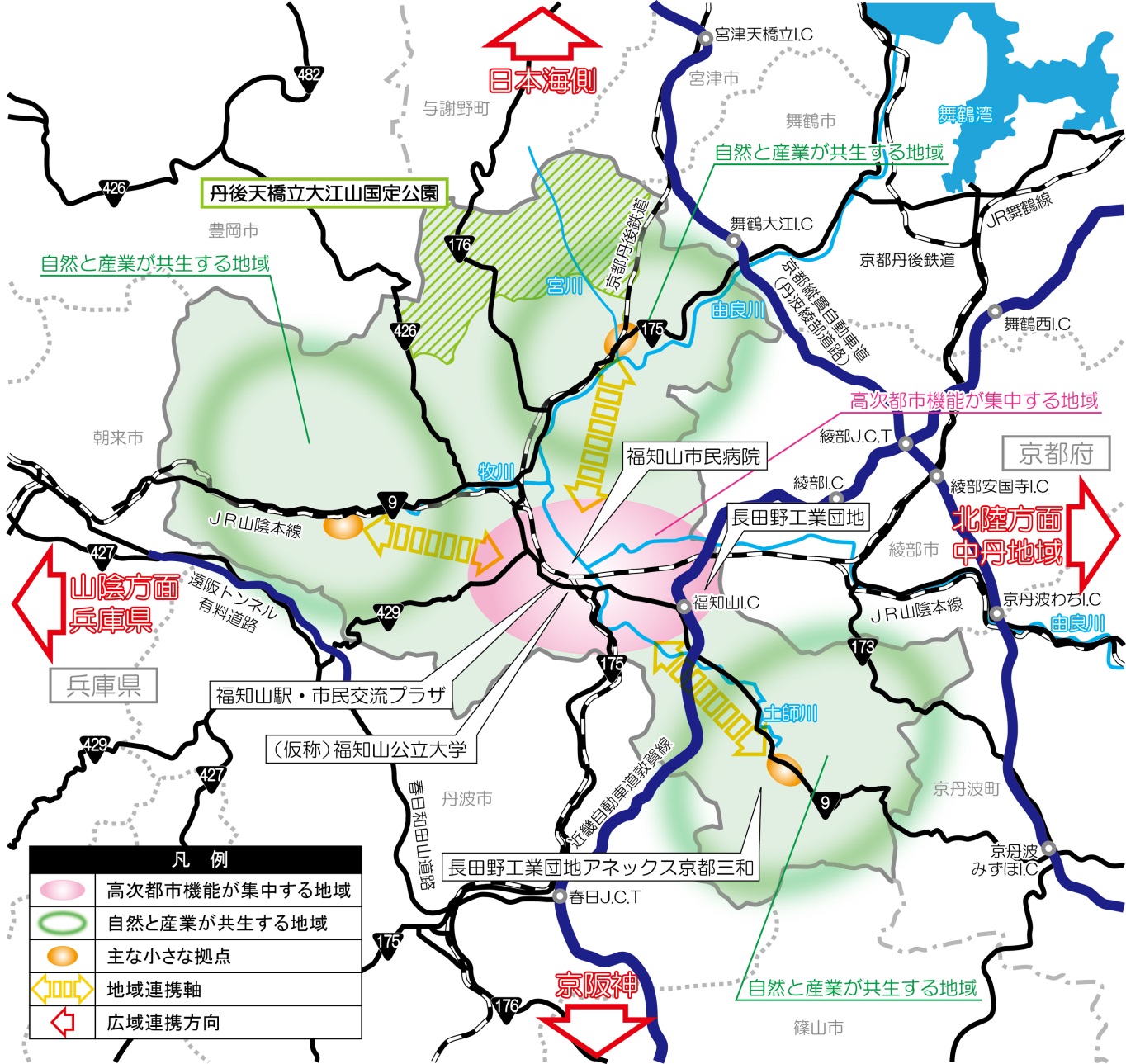
修正後

**（２）都市づくりの目標**

福知山市は、各地域の特性を活かし、多様性あふれるまちづくりを進めていくため、福知山市の「目標とする都市構造」を地域性やその役割を踏まえた“福知山らしいコンパクトな都市”づくりを推進します。

“福知山らしいコンパクトな都市”とは、高次の都市機能が集積する中心市街地の再生・強化とあわせて、三和地域、夜久野地域、大江地域や市街化調整区域を含めた農山村地域においては、中核となる集落を「小さな拠点」と位置付け、これらの核を中心として地域内外の連携強化を図り、日常的な生活利便性を確保するものです。

■目標とする都市構造図（多様性あふれる高次機能都市）



修正前

■各エリア・拠点地区のまちづくりの方向性

|  |  |
| --- | --- |
| エリア区分 | まちづくりの方向性 |
| **都市的エリア** | 市街化区域＊を中心に、行政、教育、医療、文化などの拠点施設が整備され、交通、商業、情報化など都市的機能が充実しています。  中心市街地の活性化を促進しつつ、地域内外交流の核となるエリアとしてその役割を強化し、本市の中枢的役割を担います。 |
| **まちと自然の**  **エリア** | 良好な自然の中にある地域で優良な農地も多く、都市の機能も適度に整備されています。  さらに、生活環境を整備し、利便性を高めることにより定住を促進するとともに、地域特性を活かした振興施策により農地の保全・活用を図ります。 |
| **森林共生の**  **エリア** | 少子高齢化が進んでいる山間地、中山間地を主とする地域ですが、基本的な生活基盤を維持しながら、地域の歴史や特性と近年の自然志向の流れを活かして内外の都市住民との交流と定住を促進し、農林業の振興と豊かな自然と共生した生活環境の維持を図ります。 |
| **自然環境に恵まれた**  **生活エリア** | 「まちと自然のエリア」と「森林共生のエリア」を含めて１つの農村生活圏を形成するエリアです。  豊かな自然環境との共生を図りつつ、農村生活圏における日常生活を支える拠点の形成と強化を図ります。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 拠点地区 | まちづくりの方向性 |
| **都市拠点** | 行政や防災の拠点施設を核として、大学・病院、鉄道・バスのターミナルなどの施設が立地し、さらに、観光・交流、情報化、生涯学習＊などの機能を有するなど、高次の公共サービスを提供する拠点としての役割を果たします。 |
| **小さな拠点** | 支所や公民館などを中心に地域住民の日常的な行政サービスの要求に対応する機能を有し、田園や山里に点在する既存集落に住み続けられるように、住民の日常生活を支え、コミュニティ活動や交流を支援する小さな拠点としの役割を果たします。 |
| **工業生産拠点** | 長田野工業団地と長田野工業団地アネックス京都三和が密接に連携し、新たな企業の立地、生産の拡大を図るとともに、地域内企業との連携を促進し、地域内生産の循環システムを構築します。  また、住民の良好な職場として企業活動が活性化するよう支援し、定住促進の役割を果たします。 |

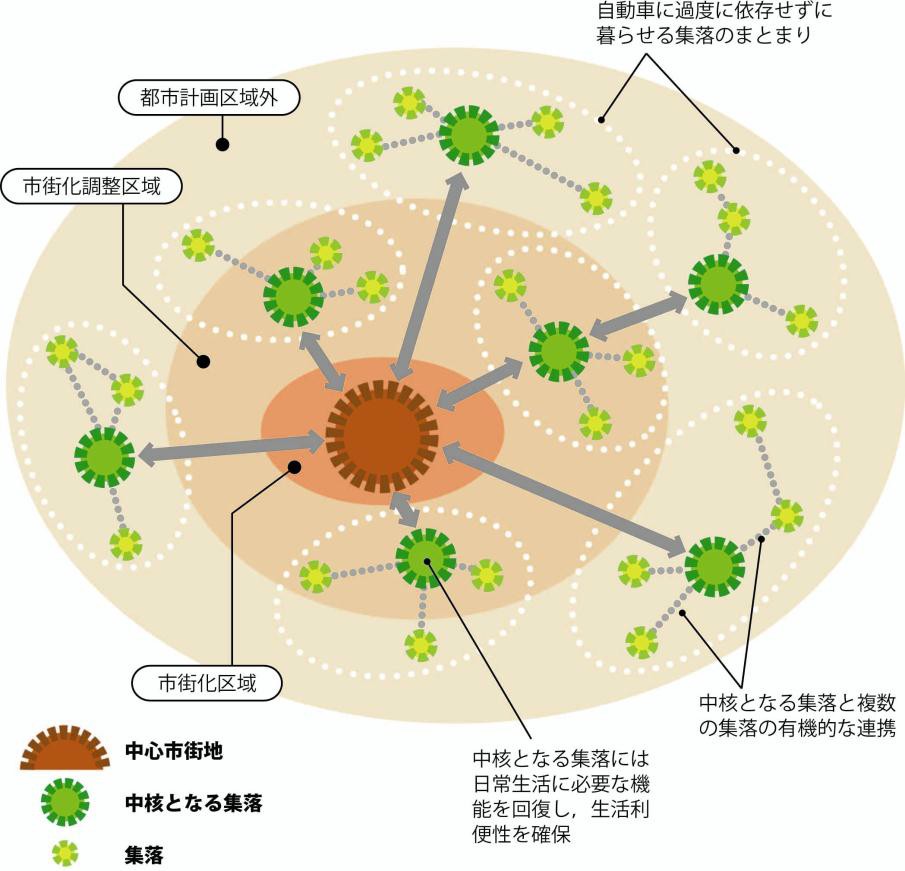
修正後

■各都市構造要素のまちづくりの方向性

|  |  |
| --- | --- |
| 都市構造要素 | まちづくりの方向性 |
| **高次都市機能が集中する地域** | 市街化区域＊を中心に、行政、教育、医療、文化などの拠点施設が整備され、交通、商業、情報化など都市的機能が充実しています。  中心市街地の活性化を促進しつつ、地域内外交流の核となる地域としてその役割を強化し、福知山市の中枢的役割と地域のくらしの安心感を支えます。 |
| **自然と産業が**  **共生する地域** | 良好な自然の中にある地域で、小さな拠点を核に１つの農村生活圏を形成する地域です。  豊かな自然環境との共生を図りつつ、農村生活圏における日常生活を支える拠点の形成と強化を図ることで、地域のくらしの安心感を生み出します。 |
| **小さな拠点** | 支所や日常生活圏の拠点などを中心に地域住民の日常的な行政サービスの要求に対応する機能を有し、田園や山里に点在する既存集落に住み続けられるように、住民の日常生活を支え、コミュニティ活動や交流を支援する小さな拠点としの役割を果たします。 |
| **地域連携軸** | 「高次都市機能が集中する地域」と３つの「小さな拠点」間において、交通網に加え都市機能や行政サービス面を含めた地域連携の充実・強化を図り、市域全体における生活基盤の維持・向上を図ります。 |
| **広域連携方向** | “福知山らしいコンパクトな都市”づくりに向けて、市内連携に加え、周辺圏域との広域連携の視野を持った都市づくりをめざします。 |

修正なし

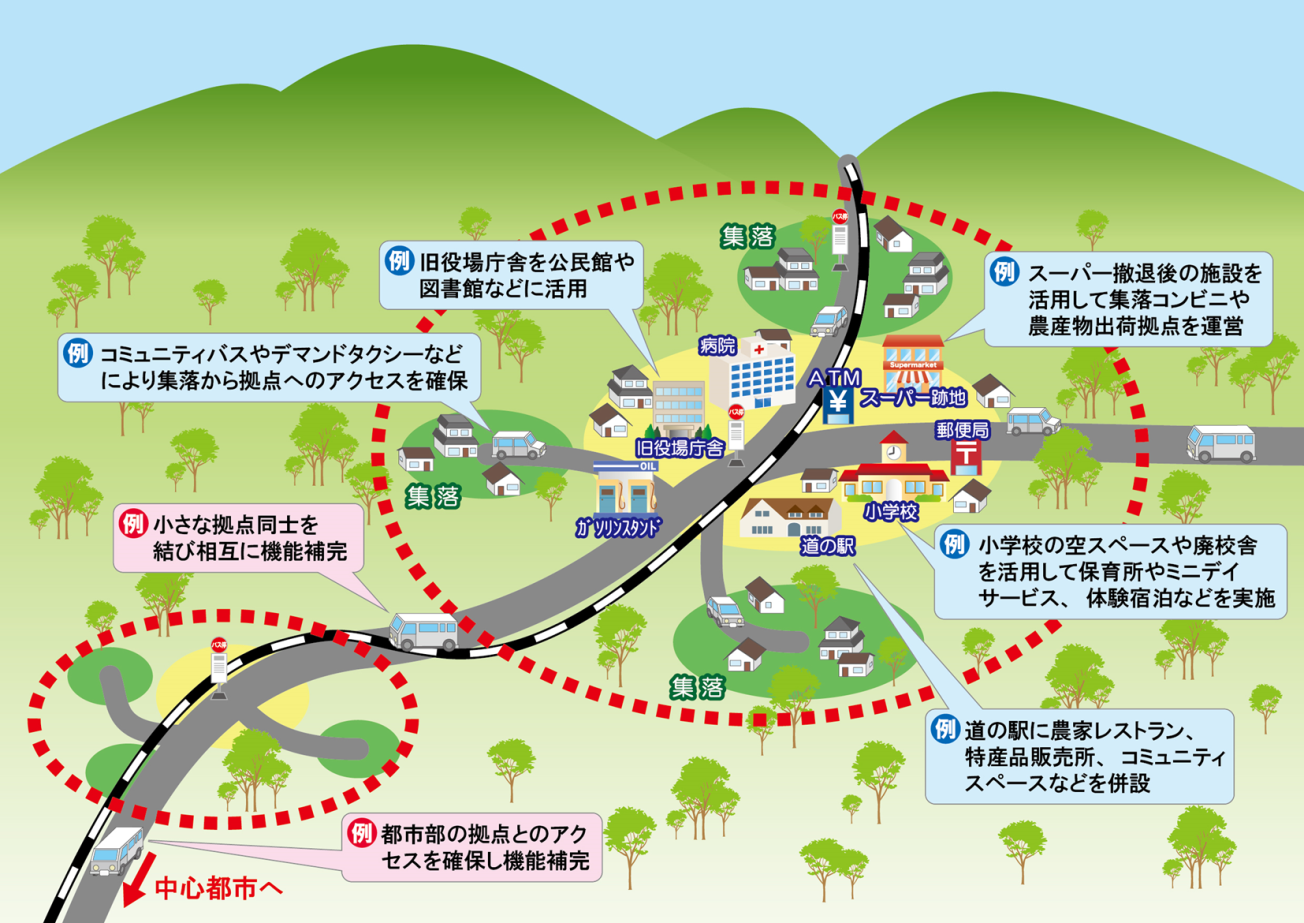
■小さな拠点のイメージ



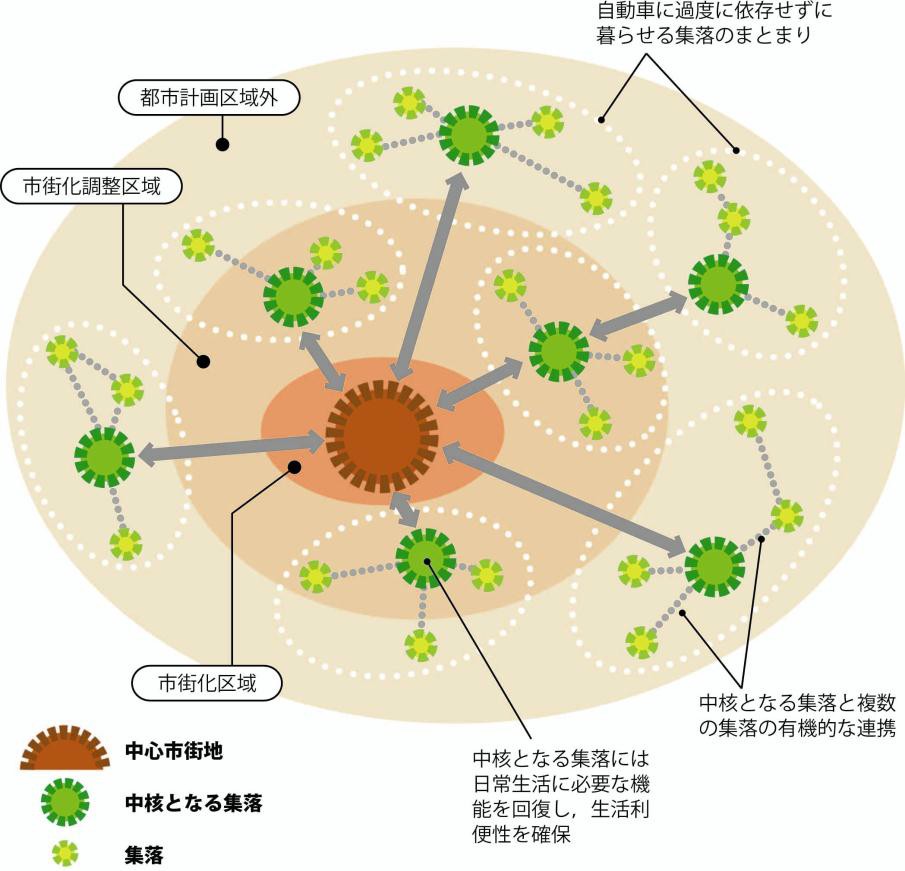
自動車に過度に依存せずに暮らせる集落のまとまり

中核となる集落と複数の集落の間を公共交通網などでネットワーク化

中核となる集落には日常生活に不可欠な施設や地域活動を集めることでワンストップでの生活利便性を確保



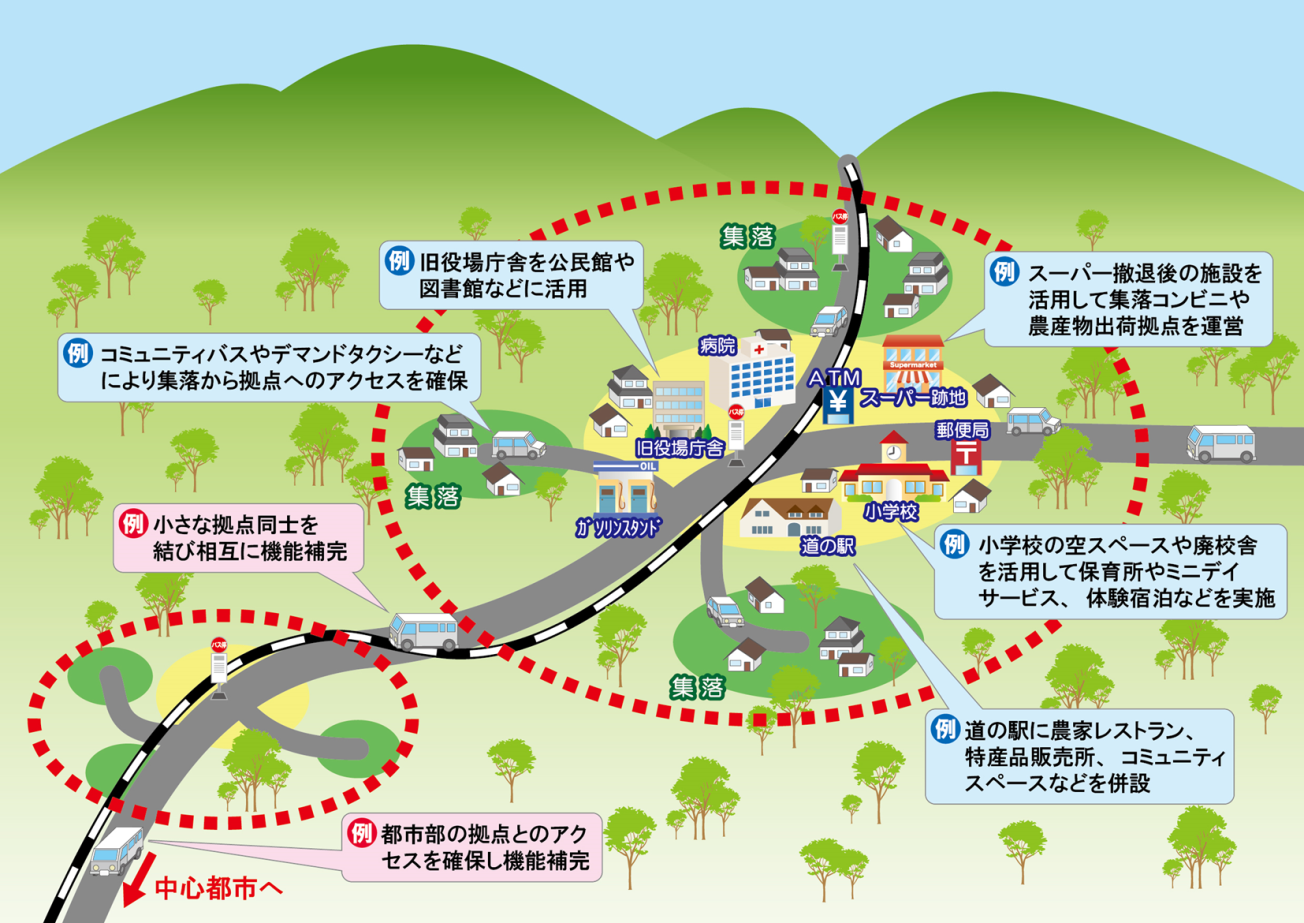
■小さな拠点のイメージ



自動車に過度に依存せずに暮らせる集落のまとまり

中核となる集落と複数の集落の間を公共交通網などでネットワーク化

中核となる集落には日常生活に不可欠な施設や地域活動を集めることでワンストップでの生活利便性を確保



修正前

**福知山市市民憲章**

修正後

**幸せを生きる**

わたしたちは、ふるさと福知山を“幸せの舞台”にします。

水清い由良川、緑濃い山々、行き交う人々。

生き生きとして、伸び伸びとしたふるさとをつくります。

わたしたちは、ひとりひとりの中に

人生を自由で美しいものにする力を持っています。

そのわき出る力を集め、四季を愛し、命を尊び

共に幸せを生きます。

**多様性あふれる高次機能都市**とは

福知山市は、これまで医・職・住・遊・学といった都市基盤の整備に取組んできており、とりわけ京都府北部唯一の地域救命救急センターである福知山市民病院、府北部最大の規模を誇る長田野工業団地、府北部唯一の4年制大学や多数の高等学校などの集積、さらには大都市圏や日本海側を結ぶＪＲ山陰本線・福知山線や京都丹後鉄道宮福線、高速道路などの交通結節点といった多様で高度な機能が集積しています。福知山市は、こうした都市的エリアと豊かな自然に囲まれた農山村エリアを併せもつ、多様な地域で構成されています。

都市的エリアでは、これらの都市機能の集積により、利便性の高いアクティブな都市的生活を送ることができます。

農山村エリアでは、豊かな自然環境の中で、大江山などの観光資源、長田野工業団地アネックス京都三和などの製造業の拠点、和紙や漆などの伝統工芸産業、農業など多様な資源や産業機能も備え、自然豊かな生活を送ることができます。

また、福知山市域内の両エリアが鉄道や幹線道路でしっかり結びついており、それぞれのエリアの良さをお互いに享受できる多様性を持っています。

さらには、京阪神地域や日本海と近接した立地条件のもと、鉄道や高速道路が整備されたことにより、1時間程度で大都市のサービスや、海の恵みなども身近に選択できる地域であり、市内外を問わず多様な生活を享受できる高度な機能が集積した都市であります。

都市と農山村の両方の基盤を活かした人口の定着と流入が図られるよう、一層、機能の充実・整備を図ることとします。